

平成19年度第1回防災会議 議事録

1 日時等

(1) 日時 平成19年8月2日(木)

10時開会、11時00分閉会

(2) 場所 流山市役所第1庁舎4階、第1、第2、及び第3
委員会室

2 会議の成立

出席：28名、欠席：1名であり、会議が成立していることが、議長から報告された。(別紙「流山市防災会議委員名簿兼出席表」のとおり)

3 傍聴者 3名

4 議事

(議題1)

流山市地域防災計画(素案)の概要について事務局から、資料1、資料2に基づいて説明が行われ、質疑・応答の後、出席委員により了承された。主な内容は次のとおり。

委員 市内小中学校の耐震化率はどのくらいか。

事務局 平成18年度末で約54パーセントである。

委員 耐震化の促進に関する具体的な方法や補助制度について伺いたい。

事務局 啓発に重点をおきながら、耐震診断の補助や国・県の補助制度を活用していくものである。

委員 災害時要援護者の地域環境づくりに配慮した点はどこか。災害対策本部と水防本部との調整はどのようにするのか。減災目標の設定で、死者数を半減するとあるが具体的な数値を示せるか。

事務局 要援護者の方には、防災訓練への参加をお願いしていくものである。今回の機構改革で、災害対策でも水防でも、本部は安心安全課で立ち上げるよう一本化を図った。減災目標については、東京湾北部地震の予測死者数を27人、茨城県南部地震の予測死者数を15人とし、それぞれを半減とする目標設定とした。

- 委員 仮設住宅建設用地の場所はどこか。
- 事務局 駒木台の少年野球グラウンド、野々下のピクニック広場、加1号公園、文化会館臨時駐車場、南流山中央公園の5箇所を候補地としている。
- 会長 要援護者の避難支援計画はいつまでに策定するのか。また、仮設住宅は最大何戸建てられるのか。
- 事務局 避難支援計画は、平成20年度中に福祉部門においてまとめていく。仮設住宅は、最大戸数260戸の建設を予定している。
- 会長 目標の平成20年度から延びないようにしてほしい。
- 委員 備蓄品について内容の再検討をする考えはないか。
- 事務局 すべて必要なものと考えている。
- 委員 食糧の備蓄については、避難住民に喜ばれるものを選ぶなど時代にあった工夫が必要である。民間との協定等の対応が現実的である。
- 委員 千葉県では松戸市に西部防災センターがあり、備蓄倉庫を整備しており、ホームページからその内容が確認できる。
- 委員 応急仮設住宅のそれぞれの戸数はどのくらいか。
- 事務局 駒木台の少年野球グラウンドが55戸、野々下のピクニック広場が77戸、加1号公園が61戸、文化会館臨時駐車場が31戸、南流山中央公園が36戸である。
- 会長 これをもって流山市地域防災計画の素案とし、パブリックコメントを実施するとともに、県知事との協議に入っていきたい。

(議題 2)

平成19年度流山市総合防災訓練について、事務局から、資料3に基づいて報告が行われた。

5 関係図書

- (1) 次第
- (2) 資料 1 ... 流山市地域防災計画 (素案) の概要について
- (3) 資料 2 ... 流山市地域防災計画 (素案) に係るパブリックコメント実施要領
- (4) 資料 3 ... 防災訓練実施に伴う基本方針